

令和2年度 局の事業の課題に対する 取組みについて

事業の課題

課題 1 区役所・コーディネーターのスキルアップと連携

課題 2 行政区域を越える広域連携の課題整理と仕組みづくり

課題 3 評価指標の検討

課題 1 に対する今年度の取組み

- ① 人事異動に伴う区役所実務者への事業について説明会の場の設定 ➡ 報告済
- ② 区役所及び相談支援室への個別支援
- ③ 区役所及び相談支援室への研修会

取組み② 区役所及び相談支援室への個別支援

区役所（3区への訪問）

【事業担当者からの主な声】

- 何をどう進めていけばよいのか分からない中、さらに新型コロナウイルスの感染拡大で会議の開催等を進めることができない。
- 医療・介護の専門職ではないため基本的なことが分からない。
- 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う業務が増大。このような状況下で研修会の開催や住民啓発は必須なのか。
- 事業のゴールはどこなのか分からない。
- 現状把握のためのデータ更新や分析を今後していきたい。（参集型の研修会開催が難しい状況で取組めることとして）
- 会議や研修会の開催にオンライン活用を検討したいが、ノウハウがない。また関係機関のオンライン環境がわからず躊躇する。
- 他の区はどう取組を進めているのかを知りたい。

相談支援室（2区への訪問等）※5月～6月 24区相談支援室への訪問実施（報告済）

【在宅医療・介護連携支援コーディネーターからの主な声】

- 区の事業担当者の交代や推進会議の開催がなく、関係者と会う機会が乏しく今後の取組みの方向性に悩む。
- コーディネーターが一人配置であり、気軽な相談ができない。担当理事や他区のコーディネーターに相談しながら進めているがこれでいいのかと思う。

現状

- ・事業に対する基本的知識が足りない
- ・めざすべき将来像が見えてこない
- ・他区における取組みの共有が乏しい
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大にともなう会議の減少

今後の課題：区役所・相談支援室に対する積極的支援

課題 1 区役所・コーディネーターのスキルアップと連携

取組み③ 区役所及び相談支援室への研修会の開催

第1回 区役所実務者、在宅医療・介護連携支援コーディネーター合同研修会

【日程】令和2年9月4日（金）

【場所】東成区民センター 大ホール

【内容】『これからの時代のACPについて考える～在宅看取りを通して～』

講師：医療法人 弘清会 四ツ橋診療所 在宅診療部長 安井 博規 氏

・『在宅医療・介護連携相談支援室 活動報告』

講師：西区在宅医療・介護連携支援コーディネーター

・『令和元年度大阪市高齢者実態調査結果』

説明：大阪市健康局

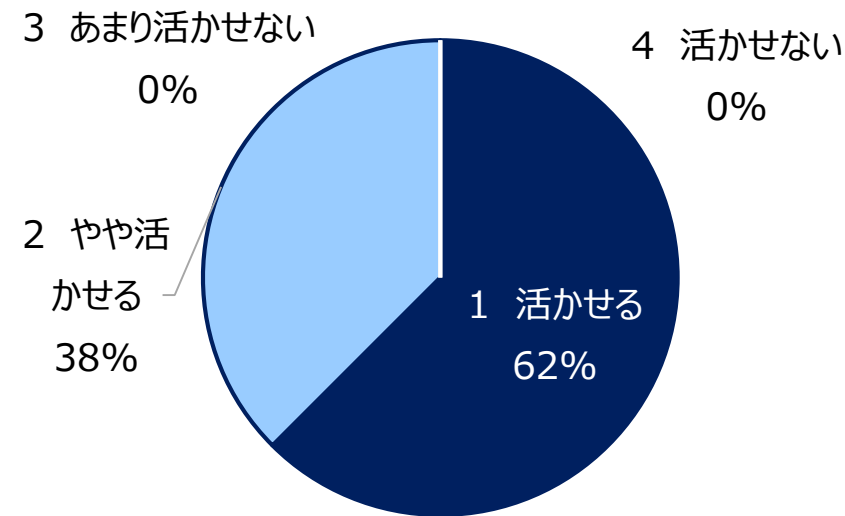
・グループワーク

第1回 合同研修会 アンケート結果 (n=48:回収率 90.6%)

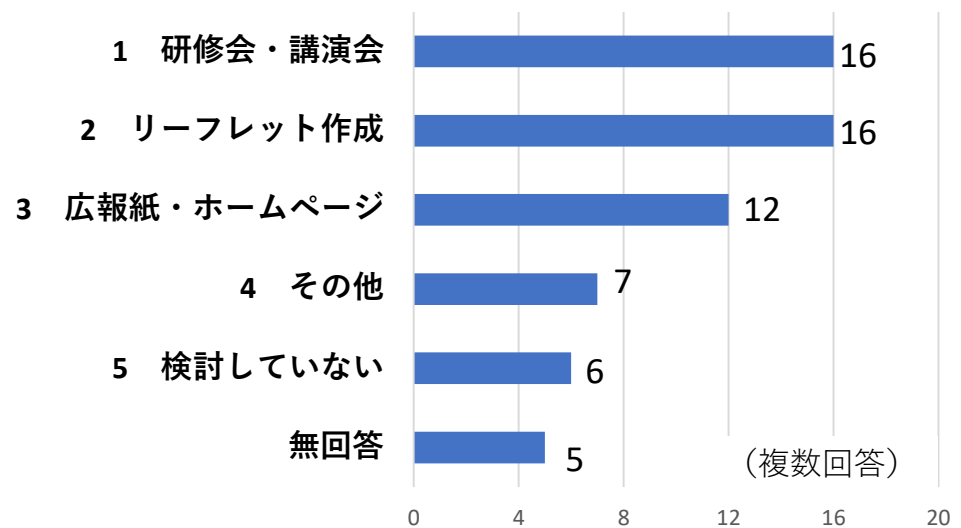
【参加者】 53名

(内訳: 区役所実務者 26名、在宅医療・介護連携支援コーディネーター 27名)

1) 今後の業務に活かせるか



2) ACPや看取りについて 今後の取組みの検討



自由記載

- ・今年から事業の担当となり、今回の講義でイメージすることができ良いと思った。
- ・ACPという言葉にとらわれず、思いを聞くことが大切との話があり今後の取組みへの参考となった。
- ・わかりやすい内容で理解が深まった。職場でも共有したい。
- ・ACPに関しては、専門職が理解した上で住民への周知啓発が必要。
- ・講義でのアドバイスは大きな勇気となり、在宅チームに意思決定支援とACPについて伝えたい。
- ・他区の方と話が出来、いろいろな情報をもらえてとても参考になった。
- ・グループワークでは、自区と重なることも多く（互いの病院利用が多い）協力してもいいのではという提案があった。

第2回 区役所実務者、在宅医療・介護連携支援コーディネーター合同研修会

【日程】令和3年3月8日（月） ※オンライン開催

【内容】・『これからの在宅医療・介護連携推進事業の展開へ向けて（仮）』

講師：株式会社富士通総研 コンサルティング本部 行政経営グループ

名取 直美 氏

- ・『在宅医療・介護連携推進事業手引きの改訂について』
- ・『在宅医療・介護連携推進事業の評価指標について』

説明：大阪市健康局

コーディネーター連絡会の開催について

- 4月～5月 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により開催できず
- 6月 2グループに分け参集型で開催
- 8月 開催中止
- 10月 4グループに分け参集型で開催



オンライン活用へ

- 11月 オンライン併用（オンライン参加：11名 参集：13名）
《第1部》新任者向けに包括的支援事業についての説明
《第2部》相談支援室の取組み報告 等
- 1月 オンライン開催（オンライン参加：21名 参集：6名）
《内 容》相談支援室の取組み報告
個別相談事例をもとに意見交換 等
※ 2グループに分けて開催



今後の課題：区役所・相談支援室に対する積極的支援

事業の課題

- 課題 1 区役所・コーディネーターのスキルアップと連携
- 課題 2 行政区域を越える広域連携の課題整理と仕組みづくり**
- 課題 3 評価指標の検討

課題 2 に対する今年度の取組み

- ①市内基本保健医療圏ごとの入退院支援にかかる多職種研修会の開催
- ②市内の病院窓口一覧を各区において医療・介護関係者に情報提供

取組み①市内基本保健医療圏ごとの入退院支援にかかる多職種研修会の開催

●北部：北区・都島区・淀川区・東淀川区・旭区

【日時】令和2年10月9日（金） 【会場】大淀コミュニティセンター ホール

【参加者数】52名

●西部：福島区・此花区・西区・港区・大正区・西淀川区

【日時】令和2年10月5日（月） 【会場】福島区民センター ホール

【参加者数】54名

●東部：中央区・天王寺区・浪速区・東成区・生野区・城東区・鶴見区

【日時】令和2年10月15日（木） 【会場】福島区民センター ホール

【参加者数】51名

●南部：阿倍野区・住之江区・住吉区・東住吉区・平野区・西成区

【日時】令和2年10月22日（木） 【会場】天王寺区民センター ホール

【参加者数】54名

【内容】

～コロナ禍での入退院支援～

●講義：『大阪府入院フォローアップセンターの役割と課題 ～適切な医療提供が医療崩壊を防ぐ～』

講師：大阪府健康医療部保健医療室感染症対策課 課長補佐 医師 平山 隆則 氏

●グループワーク：今こそつながり続けよう～職種を越えて～

アンケート結果

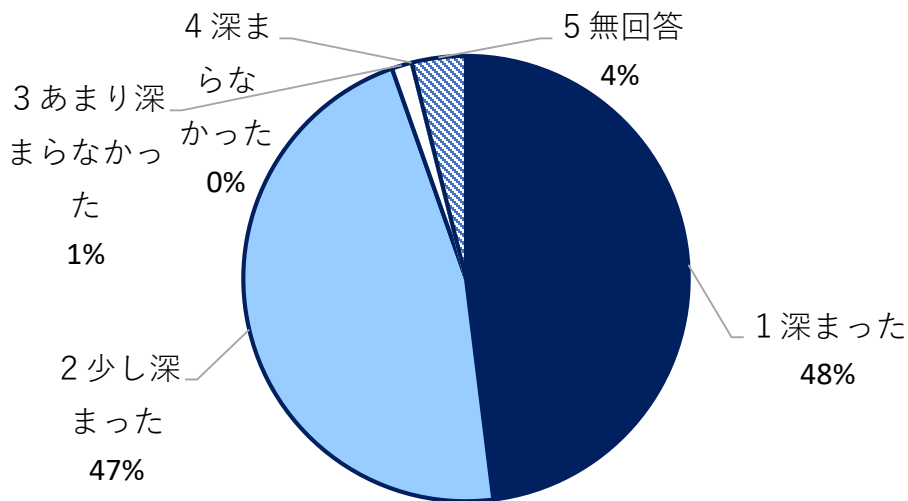
1) 所属

参加者数/ アンケート回収率	北	西	東	南	全体
		52/94%	54/100%	51/98%	54/94%
1 病院	9 (18%)	10 (19%)	12 (24%)	8 (16%)	39 (19%)
2 クリニック・診療所	1 (2%)	1 (2%)	2 (4%)	0 (0%)	4 (2%)
3 歯科医院	4 (8%)	4 (7%)	2 (4%)	1 (2%)	11 (5%)
4 薬局	8 (16%)	16 (30%)	9 (18%)	5 (10%)	38 (19%)
5 訪問看護 ステーション	5 (10%)	3 (6%)	3 (6%)	2 (4%)	13 (6%)
6 地域包括支援 センター	5 (10%)	3 (6%)	4 (8%)	10 (20%)	22 (11%)
7 居宅介護事業所	7 (14%)	8 (15%)	3 (6%)	20 (39%)	38 (19%)
8 訪問介護・通所 事業所	1 (2%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (0.5%)
9 区役所	4 (8%)	2 (4%)	2 (4%)	0 (0%)	8 (4%)
10 在宅医療・介護 連携相談支援室	5 (10%)	5 (9%)	9 (18%)	5 (10%)	24 (12%)
11 その他	0 (0%)	1 (2%)	4 (8%)	0 (0%)	5 (2%)
12 無回答	0 (0%)	1 (2%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (0.5%)
合計	49 (100%)	54 (100%)	50 (100%)	51 (100%)	204 (100%)

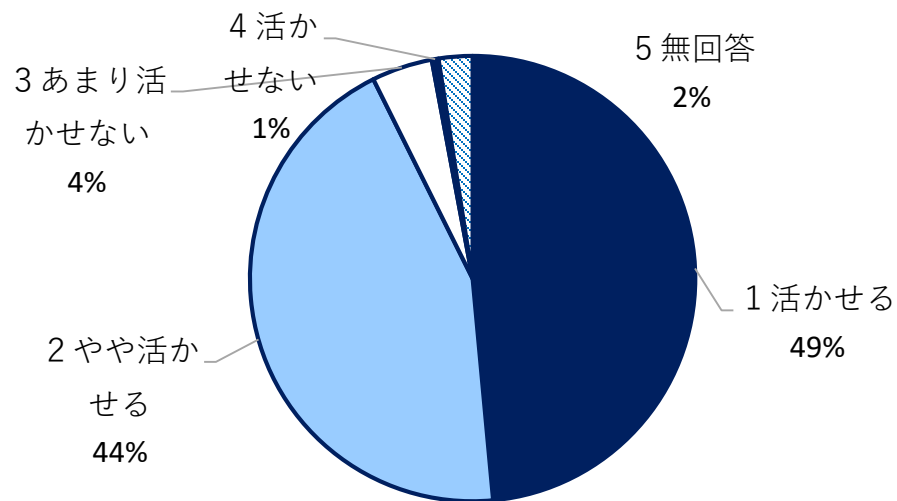
2) 職種

	北	西	東	南	全体
1 医師	1 (2%)	1 (2%)	2 (4%)	0 (0%)	4 (2%)
2 歯科医師	4 (8%)	4 (7%)	2 (4%)	1 (2%)	11 (5%)
3 薬剤師	8 (16%)	16 (30%)	8 (16%)	5 (10%)	37 (18%)
4 保健師	2 (4%)	3 (6%)	3 (6%)	2 (4%)	10 (5%)
5 看護師	14 (29%)	9 (17%)	7 (14%)	6 (12%)	36 (18%)
6 介護支援 専門員	8 (16%)	12 (22%)	5 (10%)	23 (45%)	48 (24%)
7 社会福祉士	6 (12%)	6 (11%)	11 (22%)	6 (12%)	29 (14%)
8 介護福祉士	1 (2%)	0 (0%)	2 (4%)	1 (2%)	4 (2%)
9 事務職	4 (8%)	1 (2%)	5 (10%)	3 (6%)	13 (6%)
10 その他	1 (2%)	2 (4%)	5 (10%)	4 (8%)	12 (6%)
合計	49 (100%)	54 (100%)	50 (100%)	51 (100%)	204 (100%)

3) 全体：他職種への理解の深まり



4) 全体：今後の業務にどの程度活かせるか



自由記載

【情報共有・連携】

- ・カンファレンスでの情報共有が十分できないため、できるだけ細かく情報を伝えていきたい。
- ・日頃からのコミュニケーションが重要。
- ・職種間での遠慮があるように感じた。このような時期だからこそ横のつながりや連絡が必要であると感じた。

【他職種の役割の理解】

- ・退院支援する側だが、在宅で関わる機関の方々が、どういう情報を必要とされているのかがわかった。
- ・在宅の調整に関して学ぶ機会がなかったので、グループワークを通して勉強になった。
- ・退院前カンファをコロナ関係でやめていたが、ケアマネジャーや訪問看護にとって大ダメージだったことを感じた。
- ・薬局の方への情報共有が自分の意識の中にやや欠けていたと思った。

【広域での開催について】

- ・他区の方との連携も可能となった。
- ・同じ区内だけでなく他区の情報に分かってとてもよかった。

【今後の取組み】

- ・病院側も退院後のことを今まで以上にイメージして関わっていけたらと思う。
- ・薬局から関われる業務が必要とされていることがわかったので、積極的に関わっていこうと思えた。
- ・院内では完結しないことをイメージすることができ、退院後の生活を考えて支援していきたい。

【その他】

- ・グループワークで短時間の発表・共有となったが、事例などパネラーとしてももう少し長い時間をとって欲しかった。
- ・この時期、集合研修ではなくオンライン研修の方が良いと思う。グループワークには抵抗があった。
- ・対面とリモート併用として欲しい。

取組み②市内の病院窓口一覧を医療・介護関係者に情報提供

【背景】

- 区域を越え広域での連携が必要となる場合がある。
- 病院の連携窓口の細分化等で、スムーズに連携できない。



病院窓口一覧を作成し、令和元年度より各区で活用中。

令和2年度更新完了（掲載病院 160機関➡164機関へ）



今後の課題：広域連携の仕組みづくり

事業の課題

- 課題 1 区役所・コーディネーターのスキルアップと連携
- 課題 2 行政区域を越える広域連携の課題整理と仕組みづくり
- 課題 3 評価指標の検討**

課題 3 に対する今年度の取組み

医療施設等アンケート調査、大阪市高齢者実態調査等より、本事業の評価指標を設定

前回、推進会議にて検討



区役所担当者、在宅医療・介護連携支援コーディネーターへ周知予定



今後の課題：事業の進捗管理